

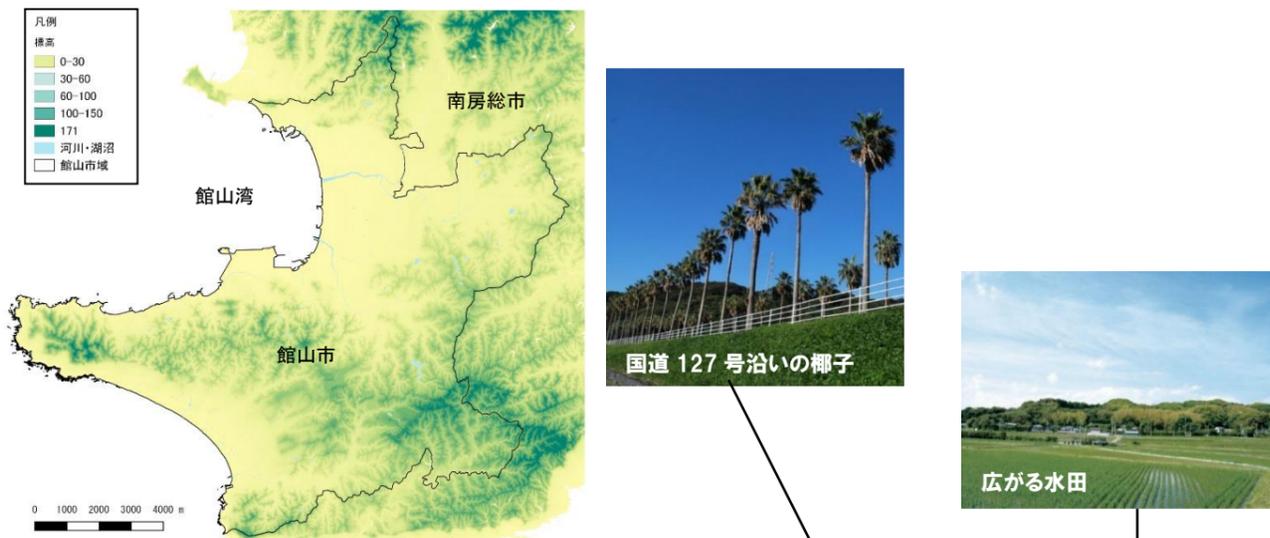
館山市の景観の現況について

1. 土地の状況

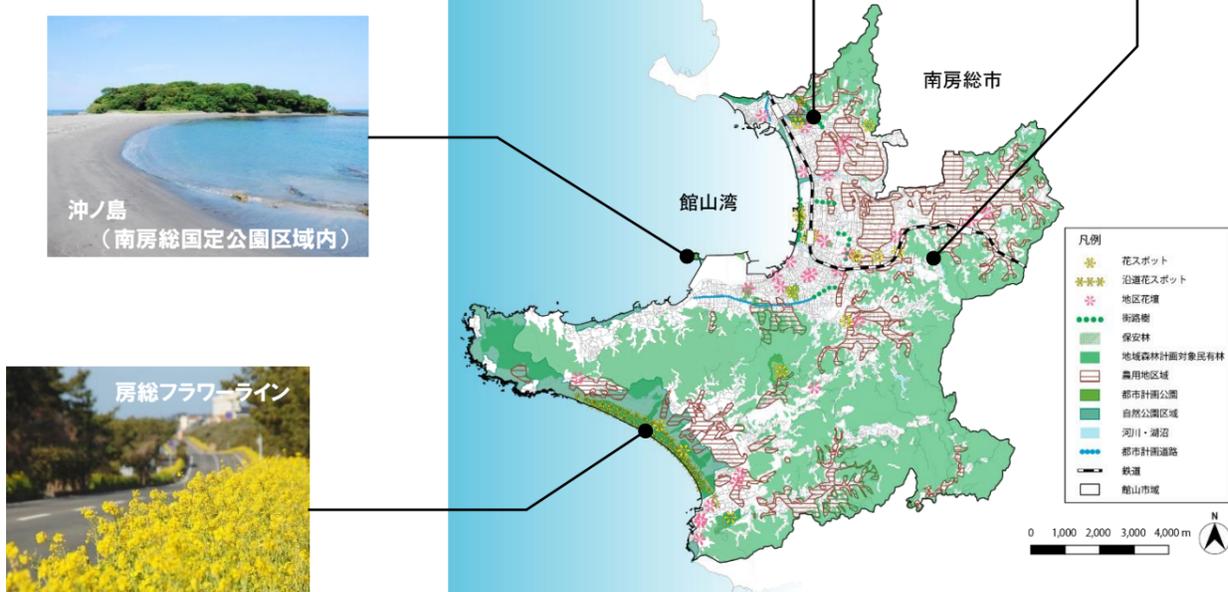
(1) 地勢・自然

- 本市の沿岸部は海拔が 0.1m と最も低く、市域東南部の南房総市と隣接するところが 171m と最も高い。
- 本市の海岸線延長は 34.3km を誇り、市域の半分が海に面し、海岸沿いのほぼ全域が南房総国立公園の区域であり、海と緑に囲まれた本市を象徴する豊かな自然景観に恵まれている。
- 市街地を囲むようにまとまりのあるみどりが広がり、南国を思わせるソテツやヤシなどの街路樹や本市のイメージフラワー、地区花壇等がまちなみにアクセントを奏でている。

イメージフラワー：ポピー、菜の花、ストック、ひまわり、ハマヒルガオ、コスモス
 地区花壇の花：マリーゴールド、ポチュラカ、パンジーなど

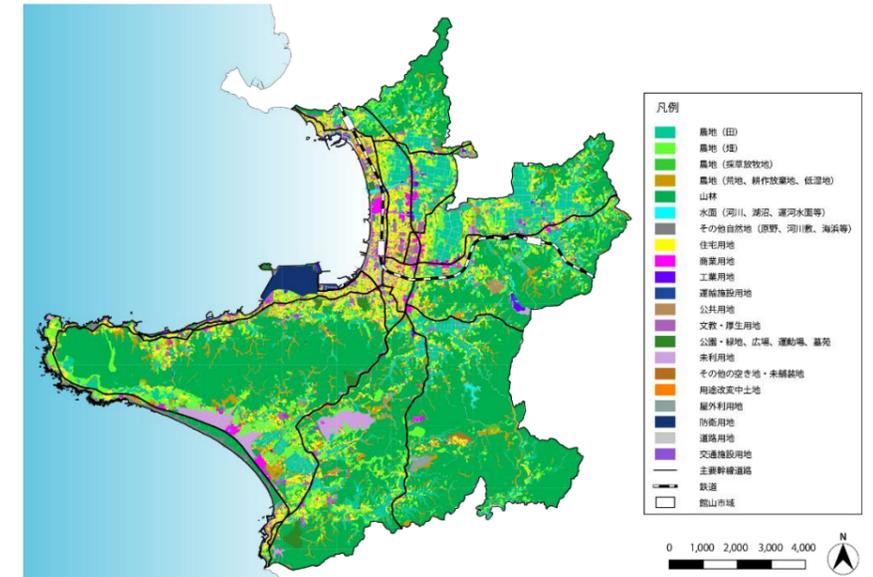


地形図 (出典) 国土地理院「基盤地図情報数値標高モデル」



(2) 土地利用の現況

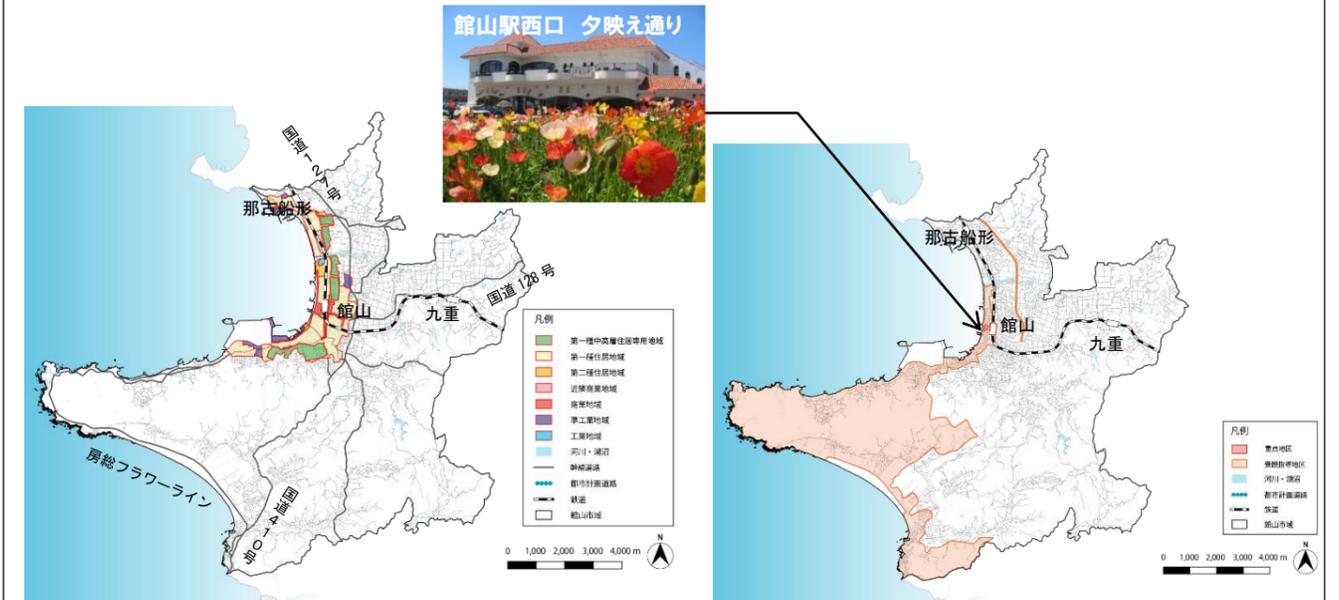
- 館山湾を中心に形成されている市街地や幹線道路沿道では、住宅用地や商業用地が集積していることから、賑わいのある景観が形成。
- 市域の 8 割程度が農地や山林等の自然的土地利用がなされ、景観の背景としても農地や山林等は重要な要素。



平成 28 年度土地利用現況図 (出典) 第 10 回都市計画基礎調査

(3) まちづくりに係る法規制

- 市域全域が都市計画区域となっているが、区域区分(市街化区域と市街化調整区域)の指定はなし。
- 館山湾を中心とした市街地では用途地域を定め、そのほとんどが住居系であることから館山湾沿いは低層のまちなみとなっている。
- 館山駅周辺・国道 127 号・市域西部及び南部では、別荘地等の開発、建築物等の新增築又は外観の補修、屋外広告物の表示又は設置などの行為について指導を行う「館山市街並み景観指導地区」に指定。また、館山駅西口地区土地区画整理事業実施区域を「重点地区」として位置付けている。
- 指導地区内では、暖かいイメージとなるよう屋根をオレンジ色系の暖色、外壁は白色等を基調とし、特に重点地区のある館山駅西口周辺を中心に南欧風のまちなみ景観を形成している。



平成 28 年度用途地域図 (出典) 第 10 回都市計画基礎調査

館山市街並み景観指導地区

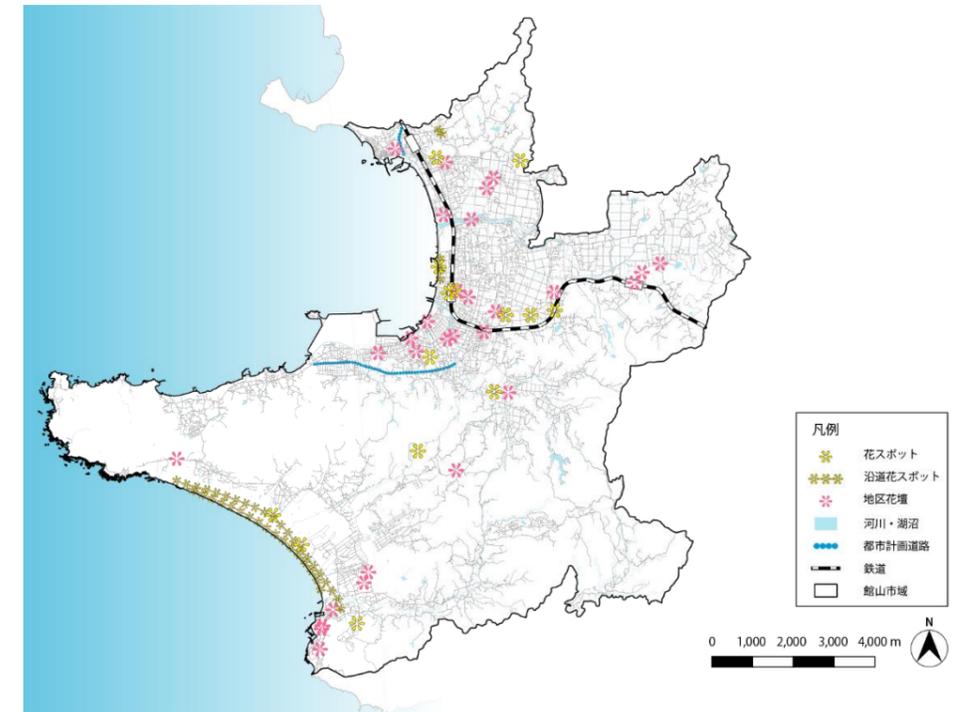
2. 景観資源の状況

(1) 歴史・文化、観光

- 房総里見氏を題材とし曲亭馬琴が江戸時代に著した伝奇小説「南総里見八犬伝」の地として知られ、史跡が多く残されている。
- 海軍5番目の実戦航空部隊として館山海軍航空隊がつけられたこともあり、戦争遺跡も数多く残されている。
- 「館山港港湾振興ビジョン」に基づく地域振興策として、クルーズ船などの多様な船舶の誘致活動を積極的に展開するとともに、海辺空間を活用したレクリエーション活動を展開している。
- 花卉栽培も盛んであるが、来訪者向けのイメージづくりと地域のコミュニティや日常生活における潤いの創出を目的に、町内会や各種団体等と行政が協働して「花のまちづくり」を推進している。
- 北条海岸、洲崎灯台、伊戸下芝などは、5月と7月にダイヤモンド富士が見られる眺望点となっている。

<観光に関する取り組み例>

- 港のまちづくり：館山港花火大会、船舶寄港記念フォトコンテスト、たてやま海まちフェスタ、ビーチバレーコート設置
- 花のまちづくり：たてやまガーデニングコンテスト、たてやまガーデニング教室、市民や団体による地区花壇づくり



花のまちづくり活動分布図



赤山地下壕跡



大巖院(里見義康の帰依により開山)



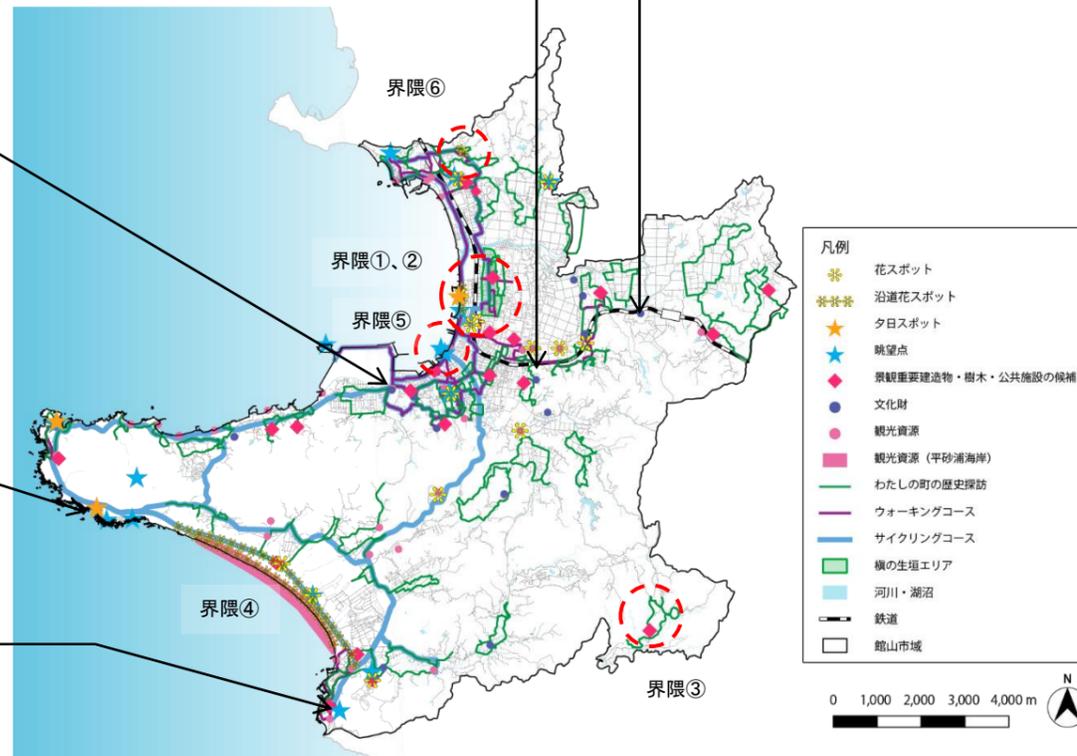
稲村城跡



ダイヤモンド富士



安房自然村からの眺望



歴史・文化の資源、観光資源の分布図

(2) 境界

- 境界①館山駅西口地区を中心に、南国を思わせる建物や街路樹による南欧風の市街地景観。
- 境界②鶴谷八幡宮を中心とするエリアにおける、榎の生垣（細葉の垣根）の連なりが美しく迫力を感じさせる文化的景観。
- 境界③畑地域における豊かな山林の中にたたずむセンリョウ畑の集落景観。
- 境界④豊かな原生林が植生する沖ノ島や美しい白砂とクロマツ林が広がる平砂浦海岸などの海辺景観。
- 境界⑤日本一長い館山夕日栈橋を中心とした港湾景観。
- 境界⑥館山バイパスなど骨格的な幹線道路における、街路樹と花がつくる四季の彩りある沿道景観。



境界①南欧風のまちなみ



境界②榎の生垣の連なり



境界③センリョウ畑



境界④平砂浦海岸



境界⑤館山夕日栈橋



境界⑥国道127号
(館山への入口)